

小学校国語A (主として「知識」に関する問題)

平成27年度
全国学力・学習状況調査

問題の趣旨

国語に関する学習内容のうち、これからの学習や生活をする上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力について調べる問題です。漢字、主語・述語の関係、言葉の意味や使い方、文章の読み取りなどが出題されています。

全体の正答率

* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

平均正答率は全国と比較して
2.2%下回っています

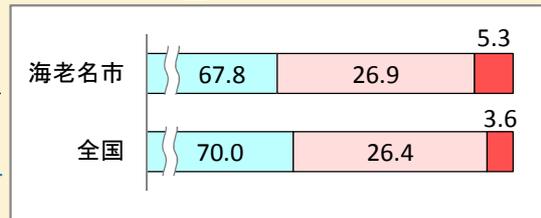
《平均正答率(%)》

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
国語A	67.8	67.9	70.0	-2.2

誤答の様子は…

《誤答の内訳(%)》

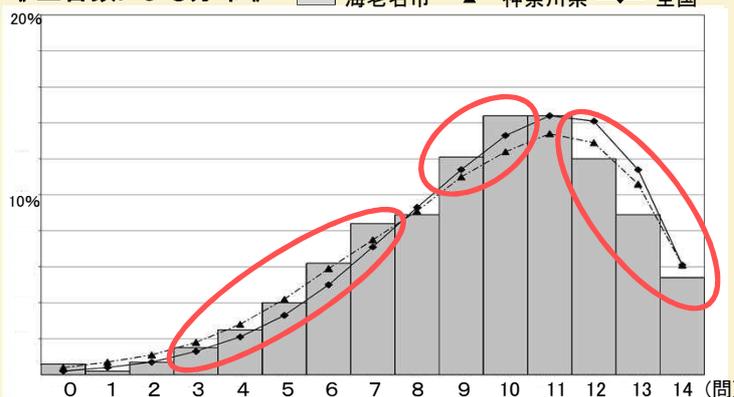
■ 正答 ■ 誤答(書いたが不正解だった)
■ 無解答(何も書かなかった)



無解答率(何も書かなかった)は5.3%でした。

分布の様子は…

《正答数による分布》



全国と比較すると
正答数が3~7問、9~10問の
児童が多く
12問以上の児童が少ない
ことがわかります

* 正答率50%以下(0~7問)の児童の割合は
23.9%でした。(全国は20.1%)

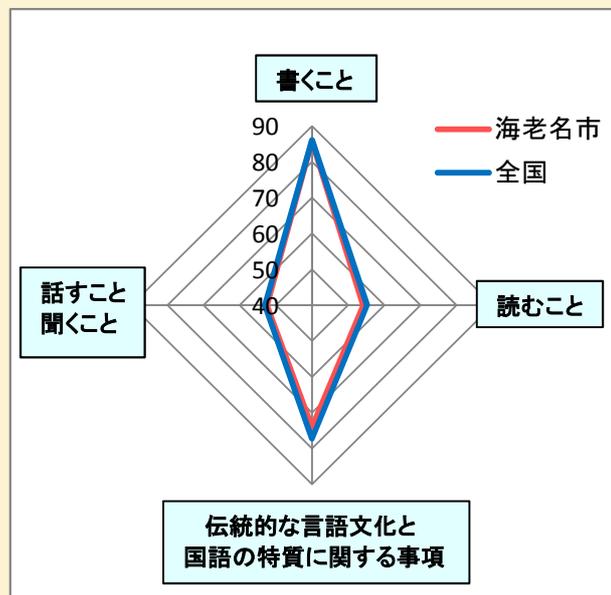
* 正答率80%以上(12~14問)の児童の割合は
26.2%でした。(全国は31.5%)

領域別の正答率

全領域において全国と比較して
やや下回っています

	海老名市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	52.5	53.0	-0.5
書くこと	85.9	86.0	-0.1
読むこと	54.2	55.2	-1.0
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.9	77.2	-3.3

- * 「書くこと」については、ほとんど差がありませんでした。
- * 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、3.3%下回っていました。



内容について

* ()内は、平均正答率の全国との比較

全国を上回った設問

- コラムを読んで、筆者の体験が書かれている段落を選ぶ。(+3.2)
- 漢字を読む。(信念) (+1.0)

全国を下回った設問

- 漢字を書く。
(浴びる) (-6.8) (巢) (-5.5) (病院) (-5.1)
- 文章から主語を選ぶ。(-6.3)
- コラムを読んで、筆者の思いや考えを根拠づける言葉を書きぬく。(-3.3)

国語Aで平均正答率が全国を下回った設問の例

漢字を書く設問

1から3までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- | | | | | |
|---|--------------------|---------------|----|-------|
| 1 | シャワーを <u>あ</u> びる。 | (全国との比較-6.8%) | 正答 | 浴(びる) |
| 2 | 鳥の <u>す</u> を観察する。 | (全国との比較-5.5%) | 正答 | 巢 |
| 3 | <u>びょういん</u> に行く。 | (全国との比較-5.1%) | 正答 | 病院 |

文章から主語を選ぶ設問 (全国との比較-6.8%)

1と2の文の主語として適切なものを、アからエまでの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましょう。

- | | | | |
|---|--|----|---|
| 1 | <u>降っていた</u> <u>雨</u> が、 <u>急に</u> <u>やんだ</u> 。 | 正答 | イ |
| | ア イ ウ エ | | |
| 2 | <u>ぼく</u> の <u>妹</u> の <u>誕生日</u> は、 <u>五月二日</u> だ。 | 正答 | ウ |
| | ア イ ウ エ | | |

☆国語Aのすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

考 察

- ◆ 全国と比べて、正答数が12問以上の児童が少なく、3～10問の児童が多い傾向があることから、基礎的な力の確実な定着を図る必要がある。
- ◆ 漢字の読み書きや文のつくりなどの言語事項に課題があり、確実に身につけるための指導の工夫が求められる。
- ◆ すべての設問において全国より無解答率が高いことから、問題の意図を読み取る能力を身につけるための工夫が必要である。

平成26年度との比較

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
平成26年度	70.7	71.3	72.9	-2.2
平成27年度	67.8	67.9	70.0	-2.2

- ◆ 昨年度と比べて、平均正答率の差が同じである。
- ◆ 昨年度と同様に、言語事項の定着に課題が見られる。

指導の改善にむけて

- ◆ 「言語事項を確実に身につける」ために
 - 既習した漢字を使い、文の構成に気をつけて正しく文章が書けるように指導する。
 - 国語以外の教育活動全般においても、くり返し指導する。
- ◆ 「読む力を高める」ために
 - 朝読書の取組や学校図書館の活用を図り、読書の機会を増やす。